



箕面小だより



箕面市立
箕面小学校
令和5年(2023年)
8・9月号

学校教育目標
めざす子ども像
めざす学校像

支え合い、ともに伸びゆく箕面小っ子

ともに考える子(知)、ともに高め合う子(情)、ともにやりぬく子(意)

○あいさつと笑顔であふれる学校

○思いやりと優しさが感じられる学校

○高学年が在校生の「あこがれ」の存在となる学校

○保護者・地域とともにあゆみ、信頼される学校

強く「思う」こと

校長 垣内 幸太

長期休み中も、保護者の皆様、地域の皆様には、子どもたちの安全、安心のためにご協力いただきましたことを感謝申し上げます。

この夏は「酷暑」という言葉がふさわしい暑さが続きました。しかし、確実に季節は移り変わります。やがて秋を迎え、スポーツの秋、芸術の秋、読書の秋、行楽の秋、食欲の秋、そして、勉学の秋などと形容されるように、子どもたちが学習や活動などを通して一段と成長する学期となります。1年間のうちでもっとも長い2学期のスタートにあたり、子どもたちに次のような話をしました。

よく「どうしたら勉強できるようになりますか」と聞かれることがあります。さて、先生はそのときなんて答えると思いますか？「こんな勉強の仕方があるよ。」「1日○時間机に向かうといいよ」「こんな本を読むといいよ」といった返事を想像したかもしれません。でも、先生は「まずは、勉強ができるようになりたいと強く思うことです」と答えます。ひとつのことをできるようにするには、いろいろな方法があります。だけど、まずは、そこに「思い」がないと、どんな優れた方法も意味を成しません。その人が「こうなりたい」と強く思うことがスタートなんです。

長い2学期は、行事や学習がたくさんあります。ただなんとなく過ごすのではなく「こんなことを頑張りたい」「これができるようになりたい」と強い「思い」を持ちながら過ごしてみてください。人の「思い」は、大きな力を持っています。それがたくさん集まるとすごい力になります。時には世の中だって変える力をもっています。先生たち、おうちの人、地域の方は、みんなのその「思い」を助けてくれます。

いま校長先生の一番の思いは、箕面小学校の子どもたち、おうちの方、先生、地域の方みんなが幸せな気持ちで過ごしてくれることです。でも、一人の力では、きっと足りません。ここにいるみんなの助けも必要です。一緒に強く思い、一緒に考えてくれると嬉しいです。一人ひとりがたくさん「思い」を持って、進んでいける2学期にしていきましょう。

子どもたちにも話をしたように、2学期も引き続き、ここに集う人たちみんなが「幸せ」をたくさん感じることでできる学校をめざして努力していきます。ただ流れていく時間を過ごすのではなく、子どもたちとともに「思い」をもって、教職員一同、教育活動を推進していきます。これまで同様に、皆様のご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。